

牛群検定情報の解析と農家支援方策

福島県畜産試験場酪農部
平成17年度畜産試験場成績概要

- 1 部門名 畜産－乳用牛－畜産経営
分類コード 07－01－49000000
- 2 担当者 中村弥・栗原三枝・阿部正彦
- 3 要 旨

牛群検定は、酪農経営を行う上で重要なものであるが、県内における加入率は低く、また、十分に活用されず離脱する酪農家もある。このため、牛群検定の活用による効率的な酪農生産のため検定成績の現状分析と支援対策の検討を行った。

（１）県内牛群の遺伝能力、検定成績

遺伝的能力については、乳量は上昇傾向にあるが、乳脂肪率は低下傾向にある。また、乳蛋白質率、無脂乳固形分率については、横ばいであるが全国平均に比べ低く、これらの改善に向けた種雄牛の選定が必要である。検定成績では分娩間隔が長く、特に分娩後初回授精日数が全国に比べ１０日程度長い。

（２）検定利用状況アンケート

検定成績の利用状況は、乳質対策が主となっており、飼養管理情報としての活用が少ない状況である。指導機関への支援要望としては、繁殖成績の改善が第一にあげられており、また、検定成績の有効活用のため、わかりやすいデータの提供を望んでいる。

検定離脱要因としては、検定日の作業が煩わしいという理由が多い。

（３）今後の支援方策

検定成績の現状や農家の要望等から繁殖成績の改善が重要な課題であり、乳成分データ等を活用した繁殖への支援が必要である。体細胞数対策としての利用に偏っていることから、飼養管理情報としての検定成績活用を支援する。

4 その他の資料など

なし